

平成24年度事業計画書

1. 陸上競技支援事業

(1) 第28回全国小学生陸上競技交流大会の事業後援

子どもたちにあらゆるスポーツの基本である正しい走法を学ばせること、スポーツを通じた友情を育んでもらうことを目的に、全国の小学5年、6年生を対象とする陸上競技大会の都道府県代表を決定する予選大会と、決勝大会を後援します。

また、子どもたちの健全な心身の育成には優れた指導者の存在が不可欠であるという考えから、日頃から小学生の陸上競技の指導に取り組まれている指導者を表彰する少年少女陸上競技指導者表彰「安藤百福記念章」を、各都道府県から選考された47名の指導者に贈呈します。

- 【実施日】 ① 予選大会 平成24年5月～7月
② 決勝大会 平成24年8月24日(金)～8月25日(土)
- 【場所】 ① 予選大会 全国47都道府県の競技場
② 決勝大会 横浜日産スタジアム(横浜市)
- 【参加者数】 約12万人(選手、指導者)

(2) 第15回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会の事業後援

発育途上の子どもたちが、身体に負担をかけない正しい長距離走を理解し、走法、呼吸法やトレーニング方法などを学ぶことを目的に、全国の小学5年、6年生を対象とするクロスカントリーの研修大会を後援します。

- 【実施日】 平成25年3月16日(土)～17日(日)
- 【場所】 池田市立呉服小学校、万博記念公園特設コース(吹田市)
- 【参加者数】 約1,000人(全国47都道府県の代表チーム他)

2. 自然体験活動支援事業

(1) 自然体験活動支援事業「第11回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」の実施

「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」では、自然体験活動の企画案を公募し、選考の上、ユニークで創造性に富んだ企画を立案した50団体に各10万円の実施支援金を贈呈します。支援した団体から提出された活動報告書を審査し、学校部門は文部科学大臣奨励賞、優秀賞を、一般部門は安藤百福賞、優秀賞を表彰します。

- ① 自然体験活動の実施支援： 全国50団体
- ② 企画コンテストの表彰：
- (イ) 学校部門
- 文部科学大臣奨励賞 1件
 - 優秀賞 1件

- (ロ) 一般部門
 - 安藤百福賞 1 件
 - 優秀賞 1 件
- (ハ) トム・ソーヤー奨励賞 数件

【表彰式】 平成25年1月に開催予定

表彰式では、優秀団体を表彰するとともに、各団体のユニークな活動を発表し、他団体の活動の参考としていただくことで、自然体験活動の活性化を図ります。

(2) 自然体験活動支援ホームページ「自然体験.com」の運営

自然体験活動に関する情報や専門家によるノウハウを満載しているホームページ「自然体験.com」を通じて、保護者や指導に携わる方々へ自然体験に関する情報を提供し、子どもたちの「自活力」を育む自然体験活動の輪を広げる事業を行います。

【URL】 <http://www.shizen-taiken.com>

(3) 自然体験活動 上級指導者養成事業の推進

子どもたちの「創造力」や「自活力」を育むには自然体験活動が有効であると言われる一方、子どもたちを身近な自然に案内する指導者と、その指導者を育てる「上級指導者」の数が著しく不足しています。

当財団では、平成22年5月、長野県小諸市に民間初の専門施設『安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター（略称：安藤百福センター）』を設立し、ここを拠点に、これまで各団体が独自で行っていた指導者養成の連携を図り、体系的かつ一元化された指導者制度を整備する中心的な役割を果たします。

- ① 体系的な自然体験活動指導者制度の改革、整備
- ② 自然体験活動の普及と底辺拡大を図る指導者養成事業
 - (イ) 上級指導者養成研修会の開催
 - (ロ) 自然体験活動に係るシンポジウム、フォーラムの開催
 - (ハ) 市民公開講座等の開催
- ③ 指導カリキュラム、自然体験活動の企画等の研究事業

3. 食文化支援事業

(1) 食創会「第17回安藤百福賞」表彰事業の実施

新しい食の創造を推し進め、食品産業の発展に貢献するために、『食創会』を主宰し、「安藤百福賞」の募集・選考・表彰を行い、独創的な基礎研究、食品開発、ベンチャー等を支援します。

【安藤百福賞】

- 大賞 1 件以内
- 優秀賞 3 件以内

- 発明発見奨励賞 3件以内
- 【表彰式・受賞記念講演会】 平成25年3月に開催予定

4. 発明記念館運営事業

(1) インスタントラーメン発明記念館（池田市）

新しい食文化となったインスタントラーメンの発明の歴史展示や体験工房など、発明・発見の大切さを伝える体験型食育ミュージアム「インスタントラーメン発明記念館」の運営を行います。

【所在地】大阪府池田市満寿美町8番25号

【来館者数】58万人（平成24年度見込み）

【施設概要】

- 敷地面積 : 3,888㎡
- 延床面積 : 2,919㎡

(2) 安藤百福発明記念館（横浜市）

平成22年、財団創設者 安藤百福の生誕百年を記念して、国際都市・横浜みなとみらいに安藤百福発明記念館の建設に着手し、平成23年9月17日に開館しました。「クリエイティブシンキング＝創造的思考」をコンセプトに、安藤百福の言葉や思考、行動の本質を現代アートの手法で表現し、世界に通じる新しい食文化や産業を生み出す原動力となった安藤百福の自由な発想、創造的な考え方を体感でき、広く子どもたちの「創造力」や「発明心」を育む活動を展開し、発明・発見の大切さを伝えます。

【所在地】神奈川県横浜市中区新港二丁目3番4号

【来館者数】100万人（平成24年度見込み）

【施設概要】

- 敷地面積 : 4,000㎡
- 延床面積 : 9,882㎡

5. 青少年の健全育成を目的とする支援・協賛事業

「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2013」（主催：文部科学省他）に協賛します。

以上